

根室市新年度予算の特徴は？

市は22日、2021年度予算案の概要を発表しました。今回の市議団ニュースでは、予算案の主な特徴を紹介します。

学校給食費を無償に！
育む 子どもたちのために子育て支援や学習環境を整備します

9337万円を予算措置し、小学校・中学校の給食費を無償化します。子育て世代の負担を軽減

します。食物アレルギーのある子どもや不登校の子どもへの対応もとられるようです。

道内では、三笠市で小学校給食を無償化していますが、中学校まで広げたのは根室市が初めてと

思われます。給食費の無償化については、現在3期目の橋本竜一議員はもちろん、5期目の鈴木一彦議員が当選するずっと前から、党議員団が主張し求めてきたものです。市民の皆さんの長年の要望が実ったといえます。

子育て支援としてはこのほかに、子育て世帯の経済的負担軽減と安心して産み育てられる総合的な支援として、一人に10万円を支給する「出産祝金支給事業」があります。

また、学力向上と将来のまちづくりを担う人材の輩出をめざす「幼保小中高教育連携事業」、花咲小学校の移転に伴う啓雲中学校の改築、花咲放課後教室整備事業などが予算措置

されます。地域福祉 ひとりでも多くの方が住みやすいまちを目指します

障がい児・医療的ケア児等支援の一環として日常生活の支援を行う「小児慢性特定疾病児童日常生活用具給付事業」が新規事業として計画されています。

また、重度肢体不自由者の介助者に交通費を補助する

る「重度肢体不自由者等の交通費助成」が拡充されます。

活力創造 地域資源を活かした産業の活性化を目指します

将来的な水産資源の増大などに向けた取り組みに新たに助成を行う「水産資源増大創造支援事業」を新規に、ホタテ貝種苗(2200万粒)の放流事業へ補助を行う「沿岸漁業振興対策事業」が計画されます。

以上のほか、防災・減災対策として、「防災対策推進事業」、「消防車両整備事業」など、また、ねむろが良かったと実感できるまちを目指すとして、「(仮称)ふるさと遊

びの広場整備事業」、「(仮称)花咲港・厚床ふるさと館整備事業」などの重点施策が盛り込まれています。

一般会計過去最高200億円超

2021年度の一般会計当初予算総額は、過去

最高の208億円となります。人口減や市中経済の低迷で市民税収入が伸び悩み、地方交付税も厳しい状況のもとであり

ますが、好調な「ふるさと納税」の基金を活用して施策をすすめていくよう

です。しかし、ふるさと納税がいつまでも右肩上がりであるとは言えません。ふるさと納税という形で根室を応援してくださる皆さんの気持ちにこたえるためにも、沿岸漁業振興などで産業を立て直すこと、また、領土を失ったことによる損失に対する補償を国にしっかりと求めていくことなどがこれまで以上に重要であると考えます。

3月定例月議会の予定は？ 3月定例月議会は2日に開会し、市長による「市政方針」、教育長による「教育行政方針」演説が行われます。その後休会、11日に再開して代表質問、12日に一般質問と議案説明など

が行われる予定です。党議員団は、代表質問に鈴木議員、一般質問に橋本議員が登壇する予定です。

15日には各常任委員会で条例案等の議案の審査が予定されています。そして、新年度の予算審査特別委員会は、一般会計の審査が16日から19日まで、各企業・特別会計の審査が16日から18日までの日程で行われます。

22日が最終日で、予算案のほか、各議案の採決などが行われます。予定は変更される場合もあるのでご注意ください。議会は全て公開されています。ぜひ傍聴にお越しください。なお、議会傍聴の際には、新型コロナウイルス感染症対策にご協力ください。

